

つばき便り



日本女子テニス連盟長崎県支部会報 昭和59年12月
発行：長崎市千歳町17-6松尾方 (TEL47-5896)

才6回 レディーステニス 報告!!

さる11月6日~8日に開催された才6回 朝日レディーステニス全国決勝大会に参加の選手のお声をお届けします。

菊田優子：あとがつかえているので、今年はぜひベスト8入りを果たしてほしいと思っていました。前夜祭のドロウ会議の抽選で対戦相手に三重県が当たった時は、いけるかな!と思いましたが、三重県のチームは、流石に都会(大阪、名古屋等)に近いチームだけあって強かたと思います。残念ながらうす対1で敗れました。事故もなく皆、無事に帰ってこれたのでほっとしています。(監督)

松尾矢子：実力が出せぬまに、汗もかかないであっけなく終わった試合で、何をやるのかなめと今でも考えています。スタンドには、沢山の友人、知人が応援に来て下さって、遠来のチームとは、思えない賑やかさでした。「松尾ショットを出して!」という声も聞こえましたが、どうしてか出ませんでした。全く自分らしい試合ができずにとりも残念でした。

山下喜久子：対戦相手の三重県チームは、過去の全国大会で3回戦、準々決勝と勝ち進んでいる実力のあるチームです。しかし、決して、手も足も出ないという相手ではなかったのですが、いつもの調子が出ず、デュースに持ち込んで、ノーアドでゲームがとれなかった。今年はネットプレーの試合が多く見られ、ボレー、スマッシュが正確で、計算され、洗練されたプレーが見られました。試合には、負けましたが、応援にかけつけて下さったテニス仲間の方々と会えて、楽しい時間がすごしました。

堀野美沙子：ヘアの人がのびのびとゆったりした顔でやるので、私は後から必死でくっついていて、ほんとに運よく相手もちょっとしたところでミスしたりして、よく云えば、そのミスをするようにこちらが得意、少し気迫がいつも私に似す「勝ったかな」というところで、危ないところで最初が取れたものですから次のも取れて勝つことができました。

加治屋美津枝：いちばん印象に残ったことは、相手チームのサーブの強さでした。特に、16.17ヘアのサーブは、すごかたと思います。2人で前に出るのに、い>ボールで出るのではなくて、配球がい>。軽々とでていく。2人で出られると、逃げるパターンになって、スマッシュ、ボレーで決められる。長崎でも前に出ることを恐れずに練習した方が良く思います。



お届け致しております選手のお声は、11月20日の懇談会での発言の一部を収録したものです。

佐世保でも女性の大会が!

5月30日、佐世保(けん牛崎親和コート 四面)でも女子の試合が、中村、松永さんらのお世話で開かれました。県支部より、松尾堀野、菊田の三名が出向き、日本女子テニス連盟の説明と、長崎県支部のこの一年の活動の報告をして、「つばき便り」NO.1~NO.3を配りました。試合は22チーム参加で終始、和やかにのんびりと進められていました。地理的に離れていても、テニスを愛する人達がかんばっていることは、心丈夫なことです。県北地区にもたくさんの方の会員をおむかえできるのを楽しみにしています。

練習会のお知らせ

- ① 日時 6月28日(木) 10~15時 (9時40分集合)
- ② 場所 ダイヤモンドクラブコート (長与町高田445 TEL 56 6156)
- ③ コーチ 山口孝司 (柳川商・東京農大卒)
- ④ 費用 1人500円 (コート使用料・ホール代)
- ⑤ 申込期日 6月23日(土)
- ⑥ 申込先 長崎市横尾三丁目19の29 福田節子
TEL 56-7643 (夜8時以降に)
- ⑦ その他 昼食持参・白を基調とした服装で

59年度会費(1000円)未納者は、当日会場で、練習会不参加の方で

未納内の方は参加者に言ってお下さい。

また退会の方はその旨代表者を通じては、りきり申して下さい。

【日韓女子テニス親善大会】

＝日本対韓国は4対2で日本の勝ち＝

6月5日に佐賀で開催された頭記大会はダブルス6ポイント(3セットマッチ)で競われました。長崎からも松尾・福田の両選手が出場し、グリーンのコートで大熱戦の好ゲームが展開されました。

あこがれのロシコートで

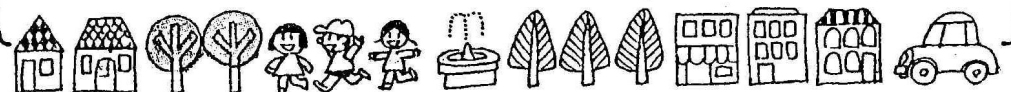
つじが丘テニスクラブ 土屋和代

日本女子テニス連盟に入会していたおかげで、ウィンブルトン九州テニスコートにおいて開催されました、才5回日韓女子テニス親善大会に参加させていただきました。日韓両国選手による親善試合は、迫力あふれるネットプレーの連続で、手に汗をにぎる思いで観戦しました。

親睦試合では、あこがれの芝生のコートで、胸をわくわくさせながら、私も思いきりゲームを楽しませていただきました。足の裏に伝わる絨毯のような芝の感触を味わいながらの数時間でした。

また、このような機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。

最後に、お世話になりました長崎支部の役員の方々にお礼申し上げます。どうもありがとうございました。



福田節子: 自分たちの試合ができずに終わってしまったとしても残念でした。相手チームは、最初からサーブで出るわけです。押されてこちらは受け身で必死に受けるだけです。反省としてもう少しサーブ力をつけること。つなぎのスマッシュとかハイボレーとかを練習して、2人が前に出る練習をした方がいよと思いました。

佐山リ子: やはり本州、都会に近い方が強いという感じを受けました。多くの対戦相手を勝ち抜いて来られ、又、日頃の試合数、経験も豊富であること。我々の場合、範囲、メンバー、試合数の点などで少いように思いました。配球、2人の呼吸の大切さ。自分に実力をつけ、攻撃的なテニスをもっと学びたいと思いました。

懇談会に出席して

レディース全国大会に出場された方々のお話しをうかがえるとのこと。これを聞き逃がしてはと、早速に出かけました。

懇談会は、12月30日からで、その前に、レディー帰りの強者より、練習の手ほどきをうけ、一汗かき、各クラブより集った人々とも親しくなり、和気合々の中で選手の方々の有意義且つ興味あるお話を聞きました。まず、縁がないと思っていたレディーですが、目標を持ち、かみはって続けてゆくと、いつの日かほどの思いと、皆と楽しくテニスができることの喜びを感じました。突りぬくひとときを過ぎて頂き、又、こういう機会があり得たら、出席させて頂きたいものだと思いました。(11月20日)

スマッシュ会 : 山崎 清美

〈桑名杯〉

期日 昭和60年 5月中旬 (予定) **試案**
 会場 市営松山テニスコート (予定)
 種目 ダブルス

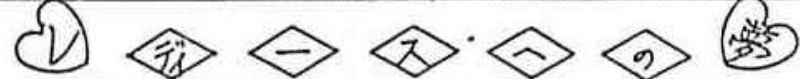


1. 桑名杯 (C級, 旧「従来のあじろリンク」) 初心者対象, 大歓迎.
 2. 桑名杯 (B級) M.M.C杯 (旧「従来のつばきリンク」) 団体, レディース全国大会等出場経験者は除く.
- 1, 2 ともに, 日本サテライトテニス連盟 会員であること.

試合方法 8ゲーム先取 (予定)

参加料 1ペアにつき 2000円 (予定)

※ 桑名杯 (C級) の3位までは、九州大会に出場の資格が得られます。 多数のご参加を!!



- ① 年一年、近づく感じ……いや、遠く感じ
- ② 一度いったら、二度いや三度かは、又、行けるかも……
- ③ 果予選、いつも出てます、コンソレが楽しいよね。(リストバネ族)
- ④ 女になれば行ける、あと3年? 楽しみにしています (有: タイトル)
- ⑤ エェッ! レディース、今の所、考えられません、今年も二日間松山でテニス、楽しませてもらう予定です。

-----J L T F (Japan Lady's Tennis Federation) 長崎県支部事務局より-----
 第5号「つばき便り」は、スマッシュクラブに担当して頂きました。1984年も残り飯かとなりました。皆様、いいお年を! 来年もどうぞよろしくお祈りします。

